

甲南中学・高校  
図書館  
図書委員会  
芦屋市山手町  
31番3号

第91号  
令和元年6月26日  
高三 伴一志  
伊藤大晴  
高二 北村拓豊  
高一 櫻井音羽依

# 読書三昧

## 三年ぶりに古本市を開催しました！

古本市は、一年に一度のペースで開催しており、その開催年は二〇一七年の予定でした。しかしながら二〇一七年は本の回収が少なかったため、翌年の二〇一八年に見送り、開催しました。二〇一八年に開催できたのは、古本の回収にご協力いただいた皆さまのおかげです。本当にどうもありがとうございました。

古本市を開催するときには、例年文化祭の二日目のみに行つのですが、昨年は文化祭自体が台風の影響で一日のみの開催となつたために、古本市も急遽（きゆうきょ）、繰り上げて開催することとなりました。そのため、いくつかのトラブルには見舞われましたが、何とか開催することができました。そのドタバタな様子や、売上状況、売上金の使途などを報告いたします。

### 本の回収と準備

回収は二〇一七年の反省もあり、授業参観や保護者会の時期に合わせて回収できるように、早めに案内を出しました。その結果、二〇一七年の回収が五三冊だったのに対し、二〇一八年は一一九四冊も集まり、無事に古本市を開催することができました。

準備に関しては、回収後、何回かに分けて、分野別に箱詰めする作業を行いました。そのため古本市で実際に本を並べるまで、箱を開ける必要が無かつたため、効率よく

\* \* \*

### 作業ができました。

文化祭準備期間に入つてからは、パネル運び及び設営に一日、本並べおよび開店準備に三日かけました。回収した中には古い本や全集などもあったため、空き箱の段ボールを利用した展示をしました。

### 古本市当日

これまで開催した古本市はいつも休日だったので、開店時間には一般のお客様が来場されることが多かつたのですが、今年は土曜日のみというところが影響したのか、午前

よりも午後の売上が非常に伸びています。なお、開店直後は甲南生が殺到して非常に混雑しました。閉店間近となつた一四時以降は、特に混雑し売上が上がりました。

### 反省と改善点

二〇一八年度担当者より

### 売上集計や売り方について

仕事の引継ぎが順調に行かず、全体でマニュアルの存在を確認していれば起きなかつたミスも多々発生している。本の売上



れた本はあまり売れ行きが良くない傾向にあり、相談可の本で実際に相談を持ち掛けたことは数えるほどしかありません。したがって、要相談や相談可を廃止し、値札には価格のみを記載するべきである。

冊数の集計と実際の売上金が一致しないなどである。特に開店直後の九時と五〇円セールを行った一四時に集計漏れが多い。今回の開催時には開店を文化祭開始同時刻にせず三〇分ほど遅れて開店させ、開店までに一度全体でのミーティングを行っておくべきだ。閉店も文化祭終了と同時にではなく少し早めるべきだ。点呼などの関係で文化祭開始時刻と終了時刻に集合するのは困難であるから、価格については特殊な場合、今回は「要相談」と書いたものが多かつたが、『ミツシヨインショップル』のシーズン3とシーズン5以外は意味がなかつた。要相談と書か

また、よく見受けられたのが現金での支払いを希望するお客様が多くおられたことだ。店頭での口頭での注意喚起と店舗側のポスターのみでは周知しきれいになつた。文化祭のパンフレットに記載していたが、パンフレットに記載されていないという声が多々あつた。もう少し大きく書くべきだろう。取り置きサービスの入は今後も実行すべきである。取り置きを行っていることを伝えると、金券を買いに行かれて戻つてこられる方が多く売り上げアップに繋がつたと考える。

### 撤収作業について

撤収作業は少し早い段階で作業に取り掛かつていたので十六時半頃まで

古本市収益金(38,950円)のうち、1万円を公益社団法人 シャンティ国際ボランティア会の「アジア子ども募金」へ寄付し、14,892円(71冊分)を古本にて学年文庫用図書として購入しました。残金14,058円は今年の図書委員でまた選書に出かけ、学年文庫用図書を購入する予定です。

提供していただいた本：1717冊

内訳 小説：572冊、児童書：174冊、実用書：510冊  
漫画：405冊、洋書：56冊

古本市当日の販売冊数：447冊

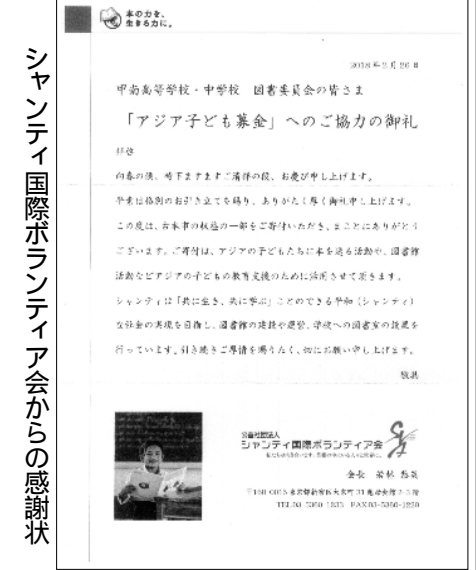
(残った本は次回古本市に持ち越します)

あまりにも汚損がひどいものを除く

総売上：38,950円

に作業が完了していた。セット本や実用書は終了三〇分前から撤収を開始しても売り上げに大きな影響はなかったとみられた。

展示について



シャンティ国際ボランティア会からの感謝状

## 灘 甲 戦 読 書 会



チーム・パチスタの栄光  
読書会

東城大学医学部付属病院では、心臓移植に変わるパチスタ手術の専門チーム「チーム・パチスタ」を作り、全ての手術において成功を収めていたが、三件連続で原因不明の術中死という事態が起きてしまった。そんな中、神経内科医の田口は院長の高階に命ぜられ原因究明のための内部調査を行うこととなり、パチスタ手術の関係者一人ひとりに話をきいてまわる。しかし調査は一向に進むことなくまたしても一人の患者がパチスタ手術の最中に意識不明の重体になってしまう。

『チーム・パチスタの栄光』  
海堂尊  
宝島社文庫 (Yノカイ)



二〇一八年六月十七日(日)、灘と甲南で毎年行われている親睦試合、灘甲戦は、灘で行われました。両校の運動部が熱戦を繰り広げている間に、甲南図書委員と灘図書委員との間で読書会を行いました。課題本は、海堂尊の『チームパチスタの栄光』です。

高一 北村 拓豊

高がこの灘甲戦読書会に参加するのは、一回目でした。一回目は中学一年生の時で、

その時は緊張してあまり自分の意見が言えなかったのですが、今回の読書会では、様々な意見を議論することができました。

読書会でとても印象に残っていることは、参加者一人一人の好き・嫌いな登場人物を理由を挙げて発表したことです。なぜ印象に残っているかという一人一人の好き・嫌いな理由を、他人が自分と同じ本を読んでどのように感じたか、また自分の



感じたこととの違いを知ることができたからです。また今回の読書会で灘と甲南の先輩方が事前に行っている下調べをしてきて様々な、作品の小ネタや豆知識を話し合っていたのがすごいなと感じました。次回の読書会も自分も事前準備をして臨みたいと思います。

# 店頭選書

二〇一八年十一月十九日水にジュンク堂二宮センター街店で店頭選書を行いました。また、三月十二日火古本市の売り上げでBOOK OFF西宮北口店にて学年文庫へ追加する本、64冊(13312円)を購入しました。



(y/ラブ/1)

## グトウルーの呼び声

H・Pラヴクラフト著  
星海社FICTIONS

高三 伴一志

「クトウルー神話」という言葉を聞いたことはありませんか？クトウルー神話とはH・Pラヴクラフト氏が創り上げた創作神話のことです。彼の死後も彼に感銘を受けた人々が続編を書いていきます。もしかしたらゲームなどで聞いたことがあるかもしれません。恐ろしい怪異と宇宙まで広がる世界観が織りなす「宇宙

本語やその使い方が書かれています。面白い挿絵なんかも入っていて大変読みやすいです。間違えたかとも思っただ方や、もう一度正しい日本語を確認しておきたい方、ぜひ読んでみてください。

「グトウルー」がテーマの小説です。おどろおどろしい内容ですが読めば読むほどこの世界に引き込まれます。続編も入っているのでぜひ図書館に借りてみてください。



(810.4/S)

## 日本語ひいき

清水由美著  
中公文庫

高一 櫻井音羽依

突然ですが、みなさん日本語止しく使えますか？正しく使えているか？思っただけでなく、直して間違えてるかも。この本では正しい日

## 『外国人が見た日本』



(689/21/W)

内田宋治著  
中公文庫

高三 伊藤大晴

この国に海の外の国に対する観光(おもてなし)という概念が生まれたのは歴史的に見てごく最近なのである。当書籍には観光という概念が明治に形成されてから現在に至るまでの時代に鋭くメスを入れていく。慧眼な洞察力と豊富な資料を基に外国人がこの国をどう見ていたのか。また我々は彼らを迎えるうえで必要

不可欠なおもてなしをどのように実行したのか。加えて彼らをもどどのように捉え、今はどうなのか？詳しく記述されている。この書籍は国際社会に追いつくこともがいてる日本の中でこれからどう生きるのかちよつとしたアドバイスを我々に与えてくれるモノとして私は皆に紹介する。

## 『一五〇年前の岩倉使節団の二ドメティア体験』



(649/2/M)

松田裕之著

高一 北村拓豊

この本は、幕府が倒され、新政府が開いた間もないころ、アメリカ、フランス、イギリス等に派遣された『日本国使節団』について書かれています。使節団のメンバーが西洋文化に衝撃を受けているところが面白かった

追いつくこともがいてる日本の中でこれからどう生きるのかちよつとしたアドバイスを我々に与えてくれるモノとして私は皆に紹介する。

## 『翔ぶが如く』



(y/しば/1)

司馬遼太郎著

高三 伴一志



BOOK OFFでの選書

明治維新から数十年間の激動の時代。その時代を生きた一人一人にスポットライトを当てている。彼らの思想や友情、葛藤を見事に書き上げた司馬

です。とても面白く、また日本の通信行政の起源がわかる本です！興味がある方は図書館にありますので是非読んでみてください。



ジュンク堂での選書

遼太郎による全十冊の長編小説です。読みごたえがあるので歴史が好きな方は是非図書館に借りてみてください。

これらの本以外にも樋口満著の『体力の正体は筋肉』(491/363/ヒ)や伊藤羊一著の『1分で話せ 世界のトッパが絶賛した大事なことだけシンプルに伝える技術』(336/49/イ)など様々なおすすめの本を入れました。僕たちが選んだ本に少しでも興味があった方は是非図書館に足を運んでみてください。沢山の素敵な本があなたを待っているかもしれません。

# 私のおすすめの本

## 数学科塚本圭右先生

私は小さいころから、国語が苦手でした。本を読む習慣がなくて育ったのでそうだったのかも知れませんが、受験でも国語がネックでなかなかうまく行きませんでした。ななせ、登場人物が複数出てくると訳がわからなくなりまして。社会人となり仕事をしている中で、今更ですが読書の重要性を感じ、少しずつ読んでいくようになりまして。こんな私ですから、読む本は読みやすい簡単なもので、今回ご紹介するのもそういった読みやすい文章の本です。普段読書しない人にも入っていきやすいものが多いかも知れませんね。

まずは自分のバイブルとしている本ですが、藤原正彦著の『国家の品格』です。藤原正彦は数学者ですが、数学者の立場から『国家がそしてその個々のあるべき姿を表した名著だ』と思います。正論だけでは人類は破滅する、

なるほどです。最近出されたこの続編的な『国家と教養』(002/F)も併せて読んで貰えたらと思います。

私は伊丹という町に生まれ育ちましたが、少し歩けば尼崎というところなんです。そんなことで地元出身のダウンタウンが売れ始めたころからずっと好きです。その松本人志が書いた『遺書』(Yノまつ)は、松本の考え方が随所に表れた作品で面白いです。すべて正しいとは思いませんが、考え方として参考になります。その松本人志の番組に百田尚樹が出演していたことがあり、そこで初めて百田尚樹を知りました。(遅すぎ！)言わずと知れたベストセラー作家です。彼の本を手にとつて読んでみたところ、ななせ読みやすく面白いのです。彼の代表作は、『存知』『永遠の0』(Yノひや)。第二次大戦中、ゼ口戦操縦の匠である青年

『国家の品格』  
藤原正彦著  
新潮新書  
(302/1/F)



の苦悩を描いた、命の尊さを問う名作です。彼の作品は物語だけでなく随筆も数多く出されており、面白いです。私はしゃべるのが苦手で、教師として向いていないと思うところがあります。機知に富んだ話ができる国語科W先生や社会科Y先生のように、話術に長けた教員に少しでもなりたいたいと思

い、今、この百田尚樹著の『雑談力』(809・2/F)を読んでいます。これも、面白いネタが紹介されており軽く読めて面白いです。さて、フロントランナー一期生の学年にいますので、受験勉強に向けて紹介するのは和田秀樹の『受験は要領』です。ただ時間を費やすだけでは受験には合格しない、合格は勉強量はもろろんですが、その要領によるところが大きい。例えば数

学は暗記だ(数学教師がこんなこと言ったら世話がないですが)とか、ある意味、的を射ていることがたくさん書いています。(そつでないことも多々ありますが)和田秀樹は、勉強法の本を幾多も出していますので、受験生は書店などで見てみて下さい。

私が一番好きな本を二作紹介します。考えさせられて、泣いてしまうのは、三浦綾子の『塩狩峠』(Yノみつ)です。『氷点』(Yノみつ)などに並んで、三浦綾子の代表作です。暴走した列車を止めるために自らレールに飛び込んでブレーキとなり、大勢の乗客の命を救った人の実話をもとにして作られた話です。自分の命を投げ出して他人を助けることができるか。決して真似できないです。真似をする必要もないと思いますが、そういう人生を選択した彼をどう考えるか、非常に考えさせられる作品です。そして、鉄道ミステリーの第一人者の西村京太郎の『四つの終止符』です。小さいころ鉄道マニアであったことから、西村京

太郎の本を読み出しました。この『四つの終止符』は鉄道ミステリーではありませんが、非常に面白かったので紹介します。耳の聞こえない青年が、殺人という無実の罪を着せられる。真犯人はいつ誰だ。ヒューマンズムに裏打ちされた秀作です。かなり古く昭和を感じる作品ですが、推理小説でもありながらいろいろ考えさせられます。

最後に、佐々涼子著の『紙をつなげ！彼らが本を造っている』(585/S)をお勧めします。この本は、東日本大震災で壊滅的被害があった日本製紙石巻工場が、苦しい中、見事に復旧を遂げる話です。本の紙は、ただ単なる紙ではなく、製造に携わっている方の思い、情熱がいつばい詰まっています。電子書籍もい

『四つの終止符』  
西村京太郎著  
講談社文庫  
(Yノにし)



いですが、やはり紙でできた本が一番です。私もこの本を読んでから紙の本を持ち歩くようになりました。支離滅裂な紹介でしたが、自分に合うだろうなと思う作品があれば、ぜひ手にとつて欲しいと思います。

## 編集後記

今回の発行は予定より大幅に遅れてしまい申し訳ありませんでした。なれない編集は大変でなかなか厳しい戦いでした。ですがこの読書三昧の編集という大役を任せられたことのでなんとつれいことでも完成させようという一心で編集を終わらせました。これからも図書館をよくしくお願ひします。



『受験は要領』  
和田秀樹著  
PHP文庫  
(学年文庫所蔵)